

平成 30 年度（第 7 期）

事業報告書

（自 平成 30 年 4 月 1 日 至 平成 31 年 3 月 31 日）

1. 事業概要
2. 助成事業
3. その他の事業

公益財団法人 韓昌祐・哲文化財団

1. 事業概要

公益財団法人 韓昌祐・哲文化財団は、平成 30 年 4 月 1 日（日）に公益財団法人として 7 年目を迎え、本財団の公益目的事業である日本と韓国に関わる文化・芸術・歴史・社会・スポーツ等の分野における学術研究、創作活動、啓蒙活動、実践活動への助成、そのほか日本と韓国に関わる国際交流に対する助成を行なうことになっています。

平成 30 年 3 月 14 日（水）に開かれた平成 29 年度第 3 回理事会でご承認いただきました第 7 期事業計画案に基づいて、第 7 期（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の助成事業を実施しました。

2. 助成事業

(1) 平成 30 年度の応募状況と選考委員会

今年度も郵送による「郵便申請」の受付のほかに、本財団ホームページから直接申請できる「電子申請」を併用しました。平成 30 年 7 月 1 日から助成申請書の募集を始め、8 月 31 日に締め切った結果、100 件の助成申請書を受け付けました。100 件の申請書のうち、事務局の事前審査で半数を落とし、選考委員会の本番に向けて審査対象となったのは 50 件の申請書でした。

この後、選考委員 5 名が 50 件の申請書を約 1 カ月かけて精査し、10 月 20 日（土）開催の選考委員会に臨みました。当日、選考委員会は 10 時に開会し 18 時 30 分まで議論を続け、助成対象候補を 18 件まで絞り込みました。

一昨年度から面接を重視しており、11 月 23 日（祝）から 25 日（日）までの 3 日間、1 名 1 時間の枠で 18 件の面接を実施しました。

その結果、平成 30 年度選考委員会は、個人 4 件、団体 4 件を助成対象候補としました。

しかし、12 月 14 日（金）にマルハン京都本社で開催された第 3 回理事会において 1 件の申請書が承認を得られず、平成 30 年度の助成対象者は、個人 4 件、団体 3 件となりました。

なお、平成 30 年度は選考委員会からも理事長からも、韓昌祐特別助成
(上限 500 万円) の推薦は上がりませんでした。

公益財団法人韓昌祐・哲文化財団

～ 平成 30 年度 選考委員 一覧 ～

金 時文 氏 (株) 東洋経済日報社 編集局長 (選考委員長)
(キム・シムン)

洪 熒 氏 (株) 統一日報社 論説主幹
(ホン・ヒョン)

高柳 俊男 氏 法政大学国際文化学部 教授
(タカヤナギ・トシオ)

五味 洋治 氏 東京新聞 論説委員
(ゴミ・ヨウジ)

金 範洙 氏 東京学芸大学 特命教授
(キム・ボンス)

平成 30 年度 選考委員会・理事会の結果報告

～ 助成対象者一覧 ～

分野	名前	研究活動テーマ・所属	助成金額
法歯学	熊谷章子 (クマガイアキコ)	「韓国に学ぶ災害犠牲者身元確認方法と標準化への推進」 岩手医科大学法科学講座法歯学准教授	1,005,000 円
舞踊	李和眞 (イファジン)	「日韓の高校生による民族音楽交流の祭典」 韓国伝統音楽家	2,000,000 円
出版	李苑暻 (イウォンギョン)	「日韓のデジタル外交の現状と両国相互理解のための課題」 上智大学グローバル教育センター研究員	1,460,000 円
美術	金慧印 (キムヘイン)	「高麗仏画における水月観音像の月光表現に関する研究」 東京藝術大学大学院美術研究科博士課程修了 文化財博士	1,991,400 円
学術	飯島渉 (イジマワタル)	「済州島の風土病征圧 日韓医師協力の歴史を掘り起こす」 青山学院大学文学部史学科教授	1,979,000 円
音楽	小坂直敏 (オサカナオトシ)	「日韓コンピュータ音楽祭 2019 による学際的文化交流」 東京電機大学未来科学部教授	1,430,000 円
国際交流	山岸公基 (ヤマキシコキ)	「百済文化国際シンポジウム開催と若手研究者の育成」 国立大学法人奈良教育大学教育学部教授	1,990,000 円
個人 4 件・団体 3 件			総額 11,855,400 円

(2) 公募の方法について

平成30年度の公募広告は7月上旬から8月中旬に、新聞媒体の統一日報、東洋経済日報に公募広告を掲載しました。

またネット・メディアでは、(株)ジェイ・キャストのJcastニュースに、公募広告をアップしたほか、平成28年度と平成29年度の助成受贈者をニュース記事としてJcastトレンドニュースに配信しました。

そのほか、国公立大学、私立大学、日韓に関わる研究機関、諸団体に財団のパンフレットを1400部配布しました。

3. その他の事業

(1) 助成証書授与式

毎年3月に開催されてきた本財団の助成証書授与式は、日韓に関わる助成受贈者の発表の場であり、また駐日大韓民国大使館の大使をはじめ日韓親善協会中央会会長、在日本大韓国民団中央本部団長および民団幹部、在日世界韓人商工人連合会会長および幹部の方々が出席される、日韓两国をつなぐ各界有識者の日韓交流の場になっています。

平成30年度助成証書授与式は、平成31年3月14日(木)16時から東京都新宿区四谷にある韓国文化院ハンマダンホールで開催されました。

(2) 日韓交流レセプション

本財団の助成証書授与式、記念講演会の後、恒例となった日韓交流レセプションが開催されました。

このレセプションには過去に助成を受けた(財)韓哲文化財団時代の助成受贈者のみなさん、また日韓に関わっている諸団体の会員も参加され、日韓をテーマに分野の垣根を越えて交流しました。

日韓交流レセプションは、平成31年3月14日(木)19時から同韓国文化院ホワイエにて開催されました。

駐日大韓民国大使館から李洙勲(イ スフン)大使にご列席を賜り、終始和やかな雰囲気のもと幕を閉じました。

平成 30 年度の事業報告附属明細書

1	給料手当	8,660,516 円
2	アルバイト給与	39,750 円
3	法定福利費	1,442,296 円
4	会議費	117,113 円
5	接待交際費	145,996 円
6	旅費交通費	826,188 円
7	通信運搬費	270,546 円
8	減価償却費	112,875 円
9	消耗品費	64,035 円
10	公募関係費	8,804,924 円
11	貸借料	324,000 円
12	諸謝金	1,548,053 円
13	図書費	22,552 円
14	助成金	11,855,400 円
15	研修費	27,200 円
16	手数料	61,828 円
	事業費総額	34,323,272 円

事業報告附属明細書の内訳

- 1 給料手当（専務理事と職員の報酬全体の3分の2）
- 2 アルバイト給与（公募関係、助成証書授与式）
- 3 法定福利費（健康保険料、厚生年金保険料、子ども子育て拠出金）
- 4 会議費（選考委員会、助成証書授与式、財団ミーティング等）
- 5 接待交際費（理事会・評議員会）
- 6 旅費交通費（助成事業の調査と検証、選考委員、助成対象者面接等）
- 7 通信運搬費（公募関係、広報宣伝、事務局等）
- 8 減価償却費（事務局）
- 9 消耗品費（事務局）
- 10 公募関係費
 - ・助成証書授与式（(有)劇団青年座、(有)ソラ、(株)永明（妻家房四谷本店）、韓国・Kim Joung Hyun 等）
 - ・広告費（(株)ジェイ・キャスト、(株)トエンタ、(株)東洋経済日報、大石デザイン事務所、(株)ページワン）
- 11 貸借料（(株)マルハン）
- 12 諸謝金（理事、評議員、選考委員）
- 13 図書費（事務局）
- 14 助成金（一般助成）

15 研修費（事務局）

16 手数料（アイワーズ・芦田正裕）